

研究課題名	緑内障手術後の眼圧下降効果や成功因子の検討に関する観察研究
試料・情報の利用目的・ 利用方法（他機関へ提 供する場合その方法）	緑内障に対する手術治療には、従来の線維柱帯切除術に加え、近年では低侵襲緑内障手術（MIGS）や、新しいシャントデバイスである PreserFlo MicroShunt（PFM）など、多くの選択肢が登場しています。これらの手術の主な目的は眼圧を十分に下降させ、視野障害の進行を抑制すること、そして患者さんの生涯にわたる点眼薬の負担（副作用や精神的・経済的負担）を軽減することにあります。 本研究では、当院で各種緑内障手術を受けられた患者さんのデータを収集・解析することで、術後に良好な眼圧を維持できている症例の割合や、どのような術前背景（年齢、術前眼圧、視野欠損の程度など）がその成功に寄与しているかを明らかにします。この結果を検証することは、今後の緑内障患者さん一人ひとりに応じた最適な術式選択や、術後管理の質の向上に役立つと考えられます。 ※単機関での実施のため、他機関へのデータ提供はありません。
研究対象者	2020 年 1 月から 2026 年 1 月までの間に、府中病院眼科（府中アイセンター）において緑内障手術（流出路再建術、濾過手術、またはシャント手術）を受けられた方
利用又は提供する試 料・情報の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させていただきます。 診療情報：生年月、性別、緑内障の病型（診断名）、手術術式、手術日、術中・術後合併症の有無、術前および術後の眼圧値、術前および術後の緑内障点眼薬数（点眼スコア）、視野検査（MD 値等）、中心角膜厚、視力、屈折値、内皮細胞数、前房深度、隅角検査、光干渉断層計、眼底写真、細隙灯顕微鏡写真、術後追加処置（ニードリング等）の有無、治療経過 ※本研究ではカルテ情報（既存情報）のみを使用し、手術で摘出した組織などの残検体は使用しません。
研究予定期間	機関の長の実施許可日 年 月 日 ～ 2031 年 3 月
試料・情報の取得方法	通常診療の過程で得られます
試料・情報を利用する者 の範囲	この研究は府中病院 眼科のみで行います
試料・情報の管理について 責任を有する者の氏名又 は機関の名称	府中病院 眼科 氏名：春名 優甫
研究に協力したくない場合	研究への試料・情報の利用についてご同意いただけない場合は下記お問い合わせ先までお申し出ください。不同意の場合でも診療に不利益になることはございません。
利益相反について	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問合せ先	府中病院 眼科 氏名：春名 優甫 〒594-0076 大阪府和泉市肥子町 1-10-17 TEL：0725-43-1234（代）